

ゆのまえ 議会だより



No. **37**
令和4年
2月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

私たちの提案 未来へとどけ



P2 特集

中学生 現状分析から7つの提案

P4 本会議

新たな財源確保と各種支援事業

P8 一般質問に6人が登壇

P15 全員協議会

P16 委員会

P18 研修・議員派遣

P19 一部事務組合

P20 住民の声

今号の写真

2年ぶりに子ども議会を開催しました。マスク着用やパーティション設置など、新型コロナウイルス対策を万全に期したなかで、中学3年生の子ども議員が元気よく「まちづくり」への一般質問を行いました。

特集につづく・・・

特集

第5回子ども議会

中学生 現状分析から7つの提案

地域と共にある学校を目指す

湯前町の「子ども議会」が11月29日に町議会議場で開かれました。湯前中学校3年生の全生徒が子ども議員として、班ごとにテーマを定め質問しました。

子ども議会は、議会改革の一環として平成29年度から開いており、今回で5回目の開催。これまでたくさんの町づくり提案が示され、すでに事業化されたものもあります。

町からは長谷町長や各課の課長らが出席し、倉本議長が議事を進行しました。町議会と同じ方法で子ども議員が登壇し、議員・教職員が傍聴しました。

子ども議会の講評では、矢野教頭から「地域と共にある学校を目指している」とのお言葉がありました。子ども議会は、町づくりの推進力として欠かせない行事になっています。



子ども議員と執行部の論戦

質問内容

【1班】親子水車に代わる町のシンボルの作成

- ①親子水車があった時と無くなった後の観光客の変動はあったのか。
- ②親子水車に代わり何か作成する予定はあるのか。
- ③駅やグリーンパレスのライトアップを壮大にしてはどうか。
- ④グリーンパレスのライトアップの下をゴーカートで走れるようにしてはどうか。

【2班】学校施設の整備

- ①1人1台iPadを導入してほしい。
- ②中学校のiPadにフィルムとケースをつけてほしい。
- ③駐輪場を増やしてほしい。

【3班】 空き家の利用

- ①空き家バンクに登録している割合は。
- ②空き家周辺の整備をしてはどうか。
- ③リフォームして賃貸住宅にしたり、DIYをする人に安く提供したりしてはどうか。

【4班】 観光の振興

- ①「マイホームタウン湯前」総合計画の令和5年度の目標に、宿泊者数7900人、観光入込客数19万3000人とあるが、今年度の状況はどうか。目標達成のために、どのような取り組みをしているのか。
- ②グランピングの場所をつくってはどうか。
- ③伝統芸能の継承活動を行っているが、衣装などの修繕はどのように行っているのか。
- ④伝統芸能を継承していくために、活動費の補助をしてほしい。

【5班】 人口減少とふるさと納税

- ①人口減少に対して、どのように予想して、対策を行っているのか。
- ②ふるさと納税は何に使っているのか。
- ③ふるさと納税の使い道を町民にアンケートしたらどうか。
- ④中学生と共同開発した製品をふるさと納税の品にとり入れてはどうか。

【6班】 人口減少と事業所の拡大

- ①令和5年度の目標に「事業所数170」とあるが、現在の事業所数はどうなっているのか。また、増やすための取り組みとして、どのようなことをしているのか。
- ②その取り組みを行って、何か変化はあったのか。
- ③他県から人を呼び込むと人口増加につながるが、別の県や市町村から来られた事業主はいるのか。
- ④他県から移住して事業を起こせる工夫をしたらどうか。

【7班】 高齢者の運転免許自主返納

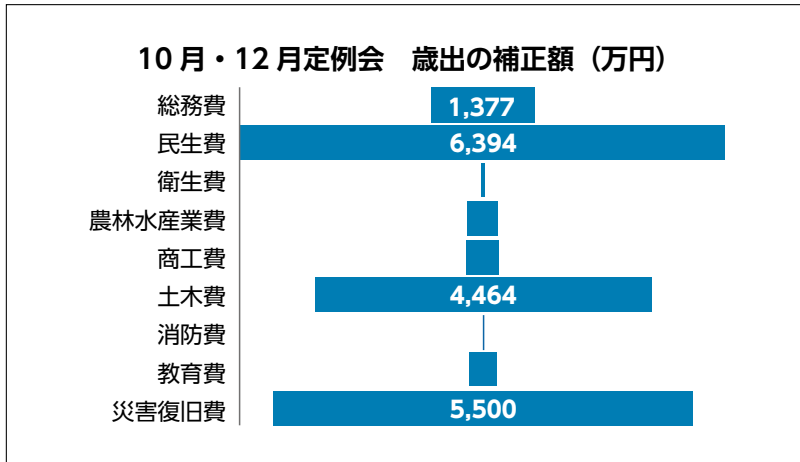
- ①高齢者の自主返納率はどのくらいか。
- ②自主返納率を上げるための取り組みをしているのか。
- ③その取り組みによって自主返納率は上がったのか。
- ④タクシー券など他県の取り組みを参考にしたらどうか。



立派に質問を終えた26人の子ども議員

新たな財源確保と各種支援事業

町の持続化への取り組み



12月定例会は、13日から17日まで5日間の日程で開かれました。議員6人が一般質問を行い、令和3年度予算の補正、条例改正などを審議しました。また10月18日と11月25日に臨時議会を開いています。補正額が大きい歳出は、新型コロナウイルスワクチン接種(民生費)、令和2年7月豪雨災害(災害復旧費)、橋梁補修(土木費)に係る事業費です。

主な補正予算

企業版ふるさと納税に着手

ふるさと納税ポータルサイト業務委託料 55万円

本町も企業版ふるさと納税を本格的に始動します。このサイト運営に係る手数料(寄附見込額の10%+税)を計上しています。

企業版ふるさと納税とは

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。正式名称は「地方創生応援税制」。

平成28年度から始まり、令和2年度に制度が大幅に見直されました。これにより、寄附額の最大約9割まで税負担が軽減されます。

寄附額の下限が10万円からとなっており、企業は積極的

に社会貢献(CSR)活動に取り組むことができるようになりました。



熊本県内の対象自治体

3回目ワクチン接種の準備

新型コロナウイルス接種事業費 476万5000円

速やかな体制確保、円滑な実施ができるよう、準備を進めるための事業費です。厚労省から方針が示されています。財源は、国庫補助金10分の10を充当します。

子育て世帯向け住宅整備に着手

地域優良賃貸住宅造成工事 950万円

駅前公園のとなり(旧JRR跡地)に建設する住宅6棟の造成工事費です。令和4年度から建設を計画しています。財源の一部に、社会資本整備総合交付金491万7000円を充当します。

地域優良賃貸住宅とは

高齢者世帯、障害者世帯、子育て世帯など、各地域における居住の安定に配慮が必要な世帯に向けた、居住環境が良好な賃貸住宅です。

福寿荘の改修工事を支援

湯前町介護基盤緊急整備特別対策事業補助金 2560万円

特別養護老人ホーム福寿荘の施設改修へ町単独の補助金を支援します。

改修目的は、入所者の安全性の確保、快適な生活を維持し難い状況を改善することです。

緊急度・重要度が高い修理(老朽化した空調・浴室・断熱材など)に関する事業費は9587万円です。このうち令和3年度の事業費7680万円に対する補助率3分の1、2560万円の補助を行います。

財源には、地域福祉基金から同額を取り崩して充当します。

(全員協議会 15ページ参照)



空調と照明を改修した生活空間



階段があり未使用の浴槽



段差がありバリアフリー化が必要な給湯エリア



空調設備がなく市販の暖房機を使用する広い浴室

GIGA スクールに向けた1人1台の端末整備

湯前小学校	
児童数	192人
端末 iPad	40台
Windows	169台
Windows	60台
計	269台

※中学校より移管

湯前中学校	
生徒数	92人
端末 iPad	40台
iPad	60台
計	100台

※追加

中学校タブレットの全iPad化

ICT関係備品購入費 360万円

タブレット端末60台を追加で購入します。現在、中学校で使用しているWindows OSのタブレットを小学校に移管し、中学校はiPadのタブレットで統一します。

財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の一部を充当します。

子ども議会において、2班の子ども議員から本事業に関する提案がありました。

(特集 2ページ参照)

新型コロナウイルス支援

地方創生臨時交付金

商工業者経営持続化支援金(期間延長)

249万円6000円

本事業費は、対象期間を令和3年9月から12月まで延長し、上限を45万円とする増額見込み分です。

販売促進支援事業補助金(新規) 200万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者には、誘客に向けた販売促進活動の取り組み経費を補助する新たな事業を創設します。

ゆのまえGOTOトラベル事業支援金 300万円(新規)

コロナ禍の宿泊需要を喚起するため、宿泊客の宿泊費助成と町内商工会加入事業者で使用できるクーポン券を合わせた事業に取り組みます。

事業停止のお知らせ

新型コロナウイルスによる本町の警戒区分を1月13日に「レベル3(特別警戒)」へ引き上げたことから、「ゆのまえGOTOトラベル」事業を一時停止しています。(詳細は町ホームページなどを参照)

その他の議案

湯前町教育委員会委員の任命

林敦子さんを再任

教育委員の任期満了に伴い、長谷町長より林敦子さん(下城区)の任命を求められ、議会は全会一致で同意しました。(任期4年)



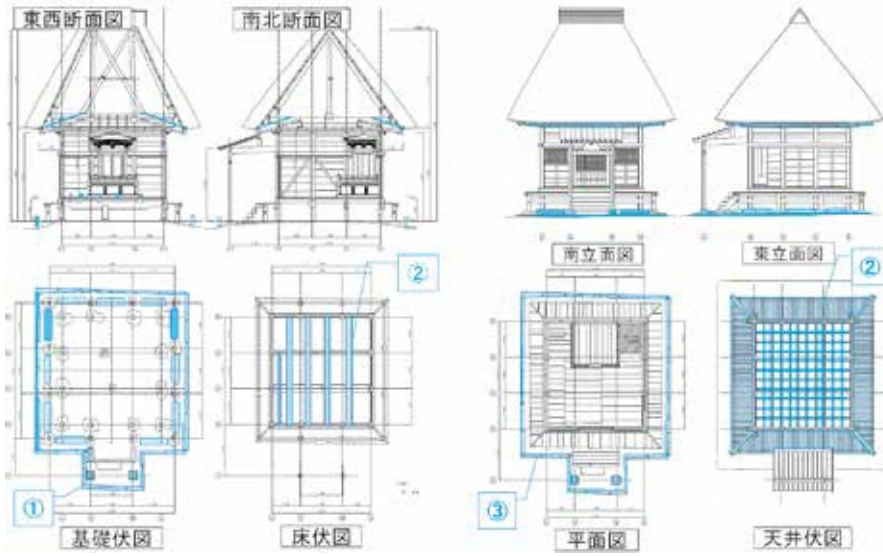
工事請負契約の変更

◎御大師堂

工事請負費を5555万円から6305万8924円へ増額します。(令和2年度会計からの繰越明許費分)

増額の主な理由

- ①礎石(そせき・柱が乗る石)の間にある、狭間石(はざまいし)据え直し
- ②床組みや天井枠の組み立て
- ③雨落ち縁石(あまおちふちいし)据え直し



山下議員へ感謝状を贈呈

令和3年度地方議会議員総務大臣感謝状

地方議会の議員として多年(通算35年以上)にわたり在職し、地方自治の発展に顕著な功労を認められる方に贈呈されるものです。

今年度の県内の対象者は山下議員のみでした。(全国で19人)



議長から感謝状を伝達される山下議員(12月定例会初日)

議案審議など 賛否一覧 [報告を除く議案：16件(10月～12月)]

議案	吉田精二	西靖邦	遠坂道太	椎葉弘樹	森山宏	黒木龍次	味岡恭	金子光喜	山下力	倉本豊	審議結果 (賛成：反対)
令和3年度一般会計補正予算(10月臨時会)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	可決(8：1)
湯前町教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9：0)
工事請負契約の締結(御大師堂)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9：0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(9：0)

○：賛成 ×：反対 —：採決なし(議長は採決に加わりません)

一般質問に6人が登壇

執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
遠坂道太	①湯前町農産物加工施設(杵つき精米所)と旧農業公社事務所の活用 ②今後のレールウイング活用	9
吉田精二	①みんなで描き育む町づくり	10
西靖邦	①移住・定住促進に向けて ②庁舎施設の執務環境	11
森山宏	①住宅用火災警報器の現状・対策 ②防災士の現状・対策	12
椎葉弘樹	①商工林業における小規模事業者への持続可能な経営支援	13
金子光喜	①農業政策 ②コロナ対策	14

新企画

前回一般質問

YouTubeアクセスランキング

町民が楽しめる新たな企画に挑戦

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。

皆さまの視聴が議員のモチベーションにつながりますので、スマートフォンやパソコンからぜひご覧ください。

議員	9月一般質問
西靖邦	1103
椎葉弘樹	65
遠坂道太	52
金子光喜	40
山下力	34
森山宏	25

(令和4年1月14日時点のアクセス数)

ランク

1位
2位
3位

西議員の一般質問
「町民サービスの向上」が
爆発的に注目されました。

一般質問のYouTubeライブ配信(生放送)を行っています。

一般質問は、IP告知端末放送(2チャンネル)とYouTube動画(生放送と録画)配信を行っています。なおYouTube動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。

◎YouTube動画 (「湯前町オフィシャル」で検索)

YouTube





遠坂 道太 議員



録画中継

問 杵つき精米所と旧農業公社事務所の活用

答 活用方法を探る

要旨 湯前町農産物加工施設（杵つき精米所）の必要性は。

答弁 農業所得の向上を目的に整備し、団体による指定管理で運営、その後に指定管理運営から撤退、現在まで休止状態。必要性は、設置目的に沿って運用されるべき。

ように活用するのか。

答弁 農業活性化を図ることが施設の目的。担当課と協議し、活用方法を探る。

要旨 施設を活用し、農家食堂などの地域農家に活用させてはどうか。

答弁 提案内容は参考にす。条例改正などにも必要。



活用方法を探る2つの農業施設

要旨 旧農業公社事務所の活用はどのように考えているのか。

答弁 町内外の商工業者や農林事業者の事業体で利用できないか。

問 今後のレールウイング活用

答 町全体へ波及効果を生み出す拠点

要旨 今後どのように活用していくのか。

答弁 若者が集う、賑わいを創出する場所として、町全体への波及効果を生み出す拠点として活用。

要旨 コンサートなどのイベントを開催してはどうか。

答弁 課題、問題点をクリアしながら、可能であれば、町だけではなく、民間主導による開催なども考えたい。

地域活性化につながる活用で多目的、多面的に利用できるところを創造。

要旨 現在の利用状況はどうなっているのか。

答弁 コロナ禍のイベント自粛で、ほとんど活用ができていない。

要旨 老朽化しているウッドデッキの改修はどう考えているのか。

答弁 検討委員会を立ち上げ、利活用のある整備の検討が必要。



活用方法を探るレールウイング

問 みんなで描き育む町づくり

答 コロナ禍により思うような活動はできていない



吉田 精二 議員



録画中継

要旨 行政区担当職員制度は。

答弁 一番の目的は「職員の見える化」。職員は自分の事務所だけを職場と思わず、町全体がオフィスであると思つて業務に取り組むべきと考える。

近年は、他町村からの職員採用も多いため、地区の人に顔と名前をまずは知っていたきたい。同時に職員は進んで地区に向き、地域の特性を理解したうえで地区と行政のパイプ役となり、地域の活性化の支援ができればいいと考える。

令和3年4月から始動して

半年が過ぎているが、コロナ禍により地区の行事も行われていない状況。現在は月2回の旬報、広報を区長に届けることが主な業務となっている。少数ではあるが地区からの要望を担当課へつないだ事例もあった。

職員は、令和2年7月豪雨災害からの復旧復興、新型コロナウイルス感染症対策など一生懸命取り組んでいる中、新たな業務が加わることで負担に感じている部分もあるかもしれないが、通常業務に支障が出ないよう担当職員間で調整して業務にあたっていたきたい。

行政区担当職員の役割(行政区ごとに2～3人配置)

- ①行政区からの相談や課題などの受付と役場内での連絡調整
- ②行政区の活性化に必要な情報提供、担当地区の現状や課題などの把握
- ③行政区の課題解決や活性化を支援するために必要な助言など
- ④その他、行政区の活動に必要と認められる事項
- ⑤旬報、広報を区長宅へ配布(月2回)



西 靖邦 議員



録画中継

問 移住・定住促進に向けて

答 大変重要な施策・導入の可能性を含め検討

要旨 定住増を促す住宅・宅地整備にあたりPFI方式活用の考えはないか。

答弁 住宅建設にあたり、平成19年にPFI事業を検討したが、取り組む事業者が

おらず、負担とリスクが大きいため、この事で見送られた経緯がある。ただし、当時から10年以上経過しており環境も変わってきている。貴重な提案だが、本町でマンションを整備した

ことがないため、制度内容や導入の可能性は勉強させていただきたい。今後事業に活用できる場面があれば、検討はしたい。

宅地分譲の必要性は認識している。現在では、元森重西

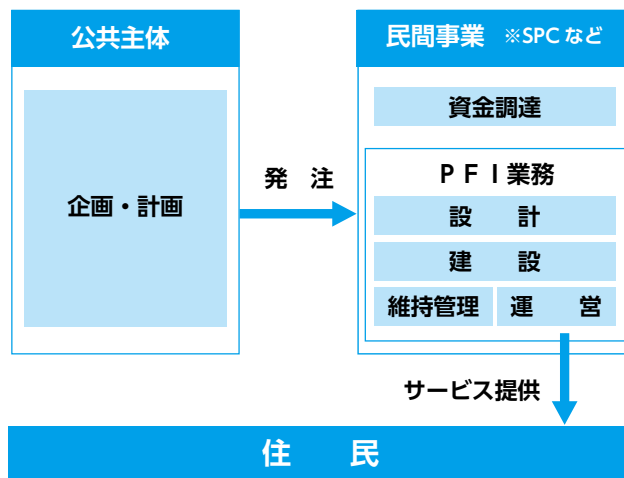
住宅の跡地を宅地整備して分譲を検討している。PFI事業の民間資金の活用により、財政負担も少なくて済む手法

調査する。住宅・宅地整備は、移住定住の受け入れとしては、大変重要な施策だと思っている。

PFI 事業事例 (九州地区の一部抜粋)

事業主体	事業名称 (仮称)
熊本県長洲町	長洲町宮野地区定住促進住宅整備事業
熊本県玉東町	木葉駅前PFI住宅整備計画事業
鹿児島県大崎町	大崎町定住促進住宅整備事業
鹿児島県肝付町	肝付町若者定住促進住宅環境整備PFI事業
佐賀県みやき町	三根庁舎西南用地定住促進住宅整備事業
佐賀県太良町	太良町定住促進住宅整備事業

P F I 事業



※SPC (Special Purpose Company)
ある特別の事業を行うために設立された事業会社のこと

問 庁舎施設の執務環境

答 職員に提案型の条件をつけアンケート実施

要旨 職員の健康管理に配慮した福利厚生諸室の整備の考えはないか。

答弁 コロナ関係および令和2年7月豪雨による災害復旧を行う最中の業務量の増に対応する職員の負担が増加しており、ストレスも過度になっていく。業務に支障がないように、重症な健康悪化に繋がらないように配慮が大切である。休憩スペースは、保健センターの部屋・食堂・相談室などが利用可能。更衣室は、プライバシーに配慮が必要であり、専用の部屋を整備できるかどうか必要性を考えたい。仮眠室は、プライベートを重視するなら放送室の小部屋も利用可能。今、働き方改革が叫ばれており当然環境の整備は必要になってくると認識している。

問 住宅用火災 警報器の現状・対策

答 他自治体の状況を把握して研究



森山 宏 議員



録画中継

要旨 設置後の点検状況は。

答弁 町営住宅の確認点検は入居者で行うが、不具合の報告は受けてない。設置後から相当の時間が経過しているため、再度の動作確認を周知する。

要旨 警報器の償却期限・耐用年数の期限はあるのか。

答弁 消防庁資料によると、警報器の耐用年数の目安は10年。本町はすでに経過しているため交換を推奨。まずは点検確認を住まれている方で実施する。

要旨 交換支援対策は。

答弁 警報器の初期導入は国の交付金を利用して設置した

もので、10年以上が経過している。交換支援は、生命財産を守る意味では理解する。行政サービスでどこまで行うのか、すでに制度化・実施されている町村の利用実績を調べ、近隣町村との協議または研究をしていく。



上球磨消防署のチラシより

問 防災士の現状と対策

答 他町村を参考に助成制度の創設を今後協議・研究

要旨 防災士の資格取得状況は。

答弁 本町は男性2人、女性1人を把握している。

要旨 防災士の資格取得要件は。

答弁 防災士になる一般的な方法は、次の通り。

①日本防災士機構が認証する研修機関の養成研修講座を受講し証明書を取得。②日本防災士機構の防災士資格取得試験に合格。③自治体、地域消防署、日本赤十字社などが主催する救急救命講習の修了証を取得。

なお、警察官・消防職員・消防団員の分団長以上などには特例制度がある。

要旨 防災士の位置付けは。

答弁 職員防災士は、防災計画の中で、本部の特命による避難所運営時の活動を想定している。職員防災士が多数のほうだが、本部の判断強化・運営強化になる。

要旨 防災士養成対策は。

答弁 全国でも助成している自治体もあり、県下では水俣市・多良木町などで助成制度を構築され、組織づくりにも取り組んでいる。本町も助成制度を協議・研究したい。

防災士認証登録者数 [九州管内]

県	防災士数(人)
福岡県	6,051
佐賀県	1,473
長崎県	1,907
熊本県	3,193
大分県	11,931
宮崎県	5,740
鹿児島県	1,657
沖縄県	1,175

(令和3年12月1日現在)



椎葉 弘樹 議員



録画中継

問

商工林業における小規模事業者への持続可能な経営支援

答

農業と同様に町独自の支援を検討する

要旨 農業と同様に、商工林業の小規模事業者へ機械・設備導入を町独自で支援する考えはないか。

答弁 現状、商工林業の機械・設備導入における町単独補助金はない。

総合戦略のアンケート結果を見ると、前々回と比べて農業振興の満足度は高い。林業

振興の満足度も高くなって

いるが、林業振興のニーズを具体的に聞く必要がある。商工業振興は、前回調査と比べて満足度は低くなっている。町に住み続けたい取り組みとして、商業振興が最も重要だ

という意見もある。商業振興は優先的に取り組むべき課題。商工林業における小規模事

業者の町単独補助金がこれまでなかった。なぜ制度がなかったのか、今回の質問であらためて理解しないとけない。他の自治体もふまえて急ぎで調べたい。

森林環境譲与税は、令和4年度から使途を変更するため、財源充当は可能。ふるさと応援基金は、令和3年度から5年度までの使途が決まっているため、令和6年度からの財源充当は可能。

「商業振興補助金等交付要項」の整備は、さっそく担当課と協議したい。

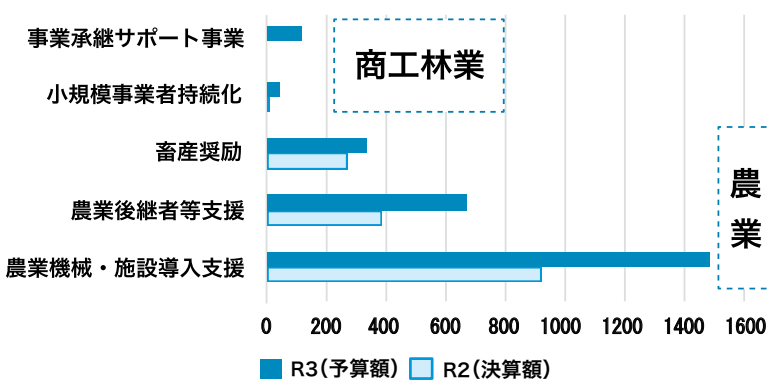
要旨 機械・設備の導入補助金は、農林商工業で循環しながら支援していく考えはないか。

答弁 町独自の事業費補助の終期は、3年周期で見直しを行うよう定めている。6年目となる農業機械・施設導入支援事業の終期は、令和元年度に見直しを行い、令和4年度までとしている。

機械・設備の導入に対し、

農林商工業への補助金をローリングにより財源を配分し事業を実施するのと理解した。財源の規律に非常に配慮した提案であり、新しいスタイル。メリット・デメリットもあるため調べてみたい。

産業別・町独自の補助金比較(単位：万円)



産業別・補助金等交付要項

湯前町農業振興補助金等交付要項 (H20年～)

湯前町林業振興補助金等交付要項 (H20年～)

湯前町商業振興補助金等交付要項 (なし)



金子 光喜 議員



録画中継

問 農業政策(みどりの食料システム戦略)への対応

答 農業振興プランという形で反映できれば

要旨 みどりの食料システム戦略に対する町の考え方と対応は。

要旨 農業公社の再稼働に向けた具体的なプランと将来への展望は。

答弁 環境負荷の軽減を図り食料、農林水産業の生産方向上と持続可能な食料システムの構築だと理解している。農業振興検討委員会の中でこの分野の方針をまとめ、農業振興プランなどの形で反映できればと考えている。

答弁 令和元年度から各種農業団体や農家の意見を伺い、検討を重ねる中で、高齢化や担い手不足に対応した農作業の受託やヘルパー事業、機械リース事業などの意見があった。今回、国の臨時交付金で購入した高性能草刈機などを

地方創生臨時交付金で整備した農業用機械

機械名	台数
スイング式法面草刈機	3台
畦畔草刈機	3台
ラジコン草刈機	2台
ハンマーナイフモアー	1台
樹木粉碎機	1台
田植機	1台
ウイングハロー	1台

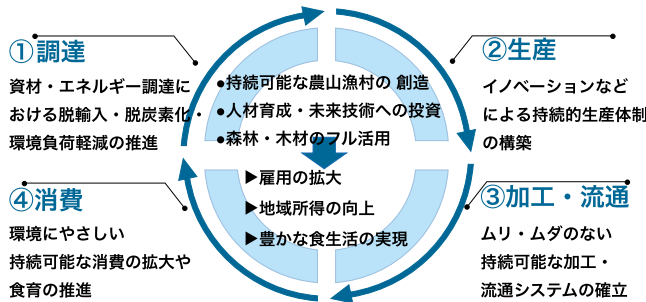
使、受託作業を中心とする展開を計画。オペレーターは、町内農家の登録制を考えており、募集を開始した。公社の運営は存続すべきという観点から、これまで時間をかけてきた。農地や農家、地域農業の発展のための事業として公益性も高い。今後は公的な支援も協議したい。

要旨 担い手確保の手段としての定年就農者などへの支援は。

答弁 担い手確保は町の大きな課題、いろいろな体制整備を図っていきたい。農業経営として取り組むのであれば、農林振興課の窓口で相談を受ける。60歳以上でも町単独補助事業を利用できるものもある。

みどりの食糧システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～



問 コロナ対策(落ち着いた中での対応)

答 国・県の方針に従い判断基準や警戒区分を策定し対応

要旨 国内、県内の感染が落ち着いた中での町の行事などの対応は。

答弁 直近では、くま川鉄道部分運行再開記念イベントを、ほぼ計画どおりに開催できた。国などが示す感染対策を徹底して行った。現状落ち着きを見せているが、新たな変異株も出ており、予断を許さない状況。

全員協議会

9月28日、10月18日、10月25日
11月25日、12月23日

主な協議事項

特別養護老人ホーム福寿荘の施設改修 支援の方向で検討を進める

10月25日の全員協議会で、福寿荘を運営する社会福祉法人 絃健会から支援要望の説明を受けました。これを受けて、11月25日の全員協議会で、福寿荘への支援内容(案)が示されました。

(本会議 5ページ参照)

福寿荘は、人吉球磨広域行政組合からの施設譲渡を受け、令和2年4月1日に民営化しました。現在、90数名の利用者と70数名の雇用者で運営されています。

当初は「ゆのまえ美空」の近くに建て替え予定でしたが、想定外の豪雨災害や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、立地や建設費用を検討した結果、現在地での運営を継続することになりました。

現在の施設は、老朽化による改修箇所が多いため、絃健会で緊急度・重要度の高い事業を整理し、整備計画を示しました。空調や照明および断熱材(天井裏)の改修工事は、国の「省エネ化推進事業」を受けることができますが、それ以外の施設老朽化の改修は、補助事業の対象にならないのが現状です。利用者や職員の安心安全を確保するには、緊急度・重要度の高い部分の工事が必要です。

これらを受けて、絃健会から町に対して改修工事費の支援をお願いされました。

福寿荘を現在地で運用する4つの理由

- ①移転先としていた「美空」の隣接地が、ハザードマップ上の危険箇所に含まれる。
- ②新築の場合、ユニット化(個室化)しないと補助事業の対象にならない。
- ③ユニット化にすると入居者負担や行政負担が増える。
- ④建設費用の高騰が予想される。

緊急対策が必要な施設 3つの課題

①生活環境の課題	②危険防止の課題	③監督官庁指導の課題
<ul style="list-style-type: none"> ○1棟、2棟の空調が耐用年数切れ(平成22年)で不具合が続出 ○3棟の空調も耐用年数切れ(令和元年) 	<ul style="list-style-type: none"> ○雨漏り(2棟と3棟の間、3棟の廊下) ○建具の損傷・劣化(1棟廊下側の天窓落下) ○厨房機器類の老朽化(水道、ガス、換気扇などいつ停止するか不安) 	<ul style="list-style-type: none"> ○階段で浴槽に入らなければならぬため危険 ○浴室に暖房機がない ○浴室内に更衣室がない(個人の尊厳、プライバシー保護に抵触)

総務厚生文教常任委員会

11月9日、12月16日

次の所管事務を調査しました。

- ◎防災備蓄品
- ◎地域活性化起業人の取り組み

委員長	椎葉 弘樹
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、黒木 龍次、西 靖邦

本町の備蓄状況を調査 災害発生から3日分の備蓄

調査の背景

- ・本町では、平成25年12月に防災備蓄倉庫を設置し、備蓄品を段階的に整備している。
- ・令和2年7月豪雨災害では、延べ95世帯、171人が避難。
- ・令和2年9月7日の台風10号では、208人が避難。
- ・今年度は、5月から土砂災害警戒情報が発表されるなど、大雨が早期化している。



防災備蓄倉庫の備品調査（役場庁舎横）

調査内容

<p>新たな防災倉庫の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の防災備蓄倉庫の横に、令和3年度で新たな防災倉庫を設置する。防災備蓄倉庫に保管している機材などは、今年度購入する油圧ショベルなどと一緒に、新たな防災倉庫に移す予定。 	<p>避難所の備蓄品対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターと改善センターにもコンテナの備蓄倉庫がある。 ・避難所設営は、保健センターと改善センターで今は事足りている。そこが満員になると、小学校体育館やB&G海洋センター、介護施設も避難所として開設するため、その時に備蓄品を運搬する。
<p>避難所の食事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時の炊き出し要請は、社協と婦人会にお願いし、保健福祉課が担当する。 ・自主避難や避難指示の際は、その日の晩に食べる分は、各自で持参してもらう。避難が長期に及ぶときは、町で準備する。 	<p>町外との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県内では、県内45市町村全てで災害協定を結んでおり、物資や人員を動かせるようになっている。また、長洲町と西米良村とは、県との協定とは別に、物資の供給や人員派遣ができるようになっている。
<p>自助の啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、小学生に防災リュックを配布した。セットの中で、足りないものは、家庭での追加を指導していく。 	<p>計画関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の実施計画で、令和4年度と令和5年度の予算にそれぞれ200万円を計上。飲食料品やテント、折り畳みベッドなどを揃えていく予定。

企画経済建設常任委員会

11月9日、12月16日

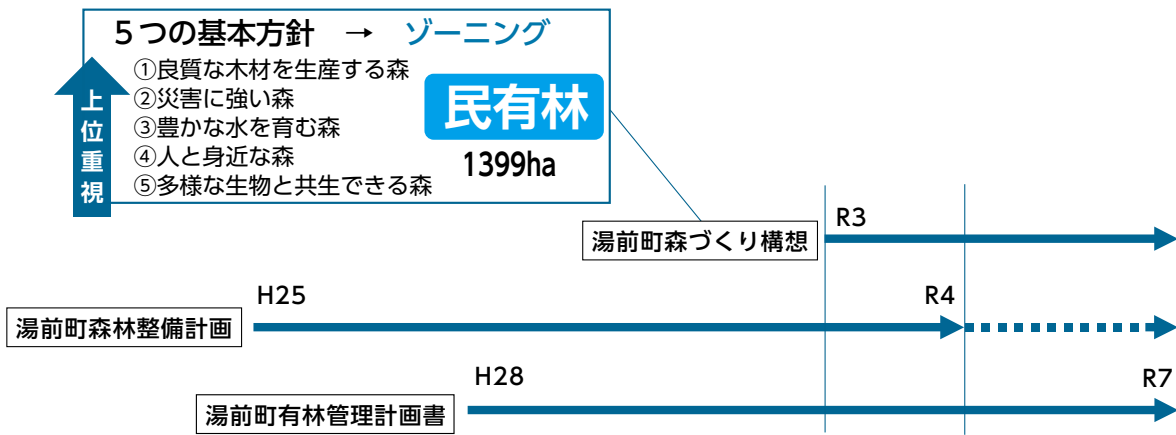
次の所管事務を調査しました。

- ◎森林に関する各種計画
- ◎農業公社移転の状況

委員長	遠坂 道太
副委員長	味岡 恭
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

長期的な視点に立った計画的な森林管理

湯前町森づくり構想 基本方針でゾーニング



※森づくり構想のゾーニングとは、森林のさまざまな機能を十分に発揮するための森林区分の方法です。

農業公社 受託作業を展開

機械倉庫と農業用機械を整備

中核農家の農業経営持続や作業の省力化、負担軽減を図るため、農業用機械を活用して草刈りなどの受託作業を行います。(今回整備した農業用機械は、金子議員一般質問 14 ページ参照)



畜産センター内に整備した機械倉庫と農業用機械

議会広報の技術を学ぶ

研 修

全国と県のオンライン研修を受講

今回の議員研修(2回開催)も役場応接室でのオンライン受講となりました。

今号から「広報ゆのまえ」と同様にUDフォントを採用しています。

11月4日

熊本県町村議会議長会

令和3年度 熊本県町村議会広報研修会

UDフォントとは

年齢や文化、身体的障害などに関わらず、誰にでも分かりやすく、読みやすいように工夫されたフォントのことです。

12月7日

全国町村議会議長会

令和3年度 全国町村議会広報研修会



オンライン研修が定着してきた議会活動

1月13日

新型コロナで議会広報研修受け入れ中止 多久市議会の視察研修

佐賀県多久市議会から本町議会に議会広報の研修申し入れがあり、これに向けた準備を進めていましたが、新型コロナウイルス第6波の影響で中止となりました。

本町議会“初”の研修受け入れとなる予定でした。今後も他自治体からの研修申し入れがあるような議会活動に努めてまいります。研修先に本町を選んでいただいた多久市議会の皆様に感謝を申し上げます。



人吉球磨広域行政組合議会

福寿荘の土地と建物を有償譲渡

公有財産の処分

令和2年4月の民営化以降、社会福祉法人絃健会に無償で貸与していた特別養護老人ホーム「福寿荘の土地と建物(公有財産)」を、5年間の期限前に処分することを可決しました。

これは、絃健会が福寿荘を現在地で運営する方針としたことによるものです。

処分価格(総額)	1610万円(うち建物価格0円)
土地面積	宅地 9499.10㎡(2873.46坪)
建物概要	延べ面積3432.96㎡ 鉄筋コンクリート造 平屋建 3239.72㎡ ほか附属建家5棟 193.24㎡

<広域行政議員 椎葉・西>

公立多良木病院企業団議会

大島企業長が辞意を表明

一般質問で答弁

あさぎり町の溝口議員、多良木町の久保田議員の2人が一般質問を行い、企業長の去就、病院の将来像、当院の新型コロナウイルス対策などの考えを質しました。

一般質問で去就を問われた大島企業長(病院長)は、事業の再建に一定の目途がついたとして、今限り(年度末)での退任を答弁されました。

<公立病院議員 金子・遠坂>

上球磨消防組合議会

新議長 宇佐信行議員(多良木町議会)

副議長 橋本 誠 議員(あさぎり町議会)

令和3年 火災・救急・救助の件数	
火災	14件
救急	1549件
救助	16件

<上球磨消防議員 森山>

住民の 声



年4回にわたり、特集ページに関するテーマを設定し、住民の皆様からご意見をいただきます。

テーマ 子ども議会に参加して①



湯前中学校3年
北崎 智心さん

○参加しての感想は

私たちの班は、より良い湯前町をつかっていくために、「他県から移住して事業を起こせる工夫をしたらどうか」という提言をしました。実現のためには、課題があることに気づくことができ、勉強になりました。

○町執行部の答弁はどうでしたか

子ども議会を通して、町執行部の皆様は、真剣に私たちの意見を聞いてくださり、意見を活用しようとたくさん考えていただいていることを知ることができました。中学生の提言に丁寧に答えていただき感謝しました。

○議会の印象は変わりましたか

伝統を大切にしつつ、新しいことも取り入れられていることが素晴らしいと思いました。

テーマ 子ども議会に参加して②



湯前中学校3年
中渡 李空さん

○参加しての感想は

私たち中学生が、町の運営に携わる機会はほとんどないので、貴重な体験ができたと思います。中学生のアイデアを活かして町を運営されると考えると、とても誇らしいです。

○町執行部の答弁はどうでしたか

私たちの意見をしっかり聞いてくださっていて、私たちとはまた違う視点で答えを出してくださっていました。私自身にも新しい気づきがあり、成長につながりました。

○議会の印象は変わりましたか

議会と聞くと、堅い印象がありましたが、議長さんや町長さんが、明るく場を和まされていたので、緊張することなく発言ができたと思います。この発言が、より良い町をつくるきっかけになればうれしいです。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111(内線261)

編集後記

ナ禍のピンチをチャンスに変えて、パワフルなトラのように活動していきます。

(森山)

▶新年おめでとうございます。皆様の益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。議会だよりを更に読んでいただけるよう、活力を持って取り組んでいきます。

▶第6波の新型コロナウイルス感染拡大により、催事や事業が縮小されたり中止されたりしています。先が見通せませんが、明けない夜はないといえます。私たち議員もコロ

◆議会広報調査特別委員会

私たちが編集しました。

委員長 森山 宏 副委員長 西 靖邦

委員 金子 光喜 椎葉 弘樹

遠坂 道太 吉田 精二

